

令和3年度「京都市民健康づくり推進会議」たばこ対策推進部会及び適正飲酒推進部会 摘録

1 日時 令和4年2月3日（木）13：30～15：00

2 場所 職員会館かもがわ 3階 大多目的室

3 次第

(1) 開会挨拶 京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室長 北川 博巳

(2) 議事

① たばこ及び飲酒対策に係る令和3年度取組状況及び令和4年度取組予定について

<p>事務局・くらし安全推進課 部会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料1の説明 ・ 本部会の構成団体から、令和3年度の取組状況等を御報告いただけるか。コロナの影響により例年通りには活動できない状況ではあったかと思う。特にコロナ禍における感染防止対策等工夫した点について伺いたい。オンライン開催により挙手が分かりづらいため、指名させていただく。
<p>京都府薬剤師会 部会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 禁煙支援薬局におけるニコチンパッチ、ガムなどを用いた無料の禁煙指導を実施した。昨今、紙巻きたばこから加熱式たばこに変える喫煙者が増えていることを考え、加熱式たばこに関する情報提供のリーフレットを作成し、会員全員に送付した。
<p>京都府看護協会 部会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ では次に、京都府看護協会お願いできるか。 ・ 毎年看護職を対象に研修を実施している。防煙を含め喫煙指導をしている。希望する学校に出向き授業を行う取組である。例年であれば、もう少し多く実施しているが、今年度については3校に出向いた。総計184名の看護学生に指導している。 ・ 卒煙サポーター養成講座では、禁煙推進研究会のほうから報告されるかもしれないが、禁煙推進研究会と薬剤師会と看護協会が合同で実施している取組である。今年度は今週末に新型コロナウイルス感染症とたばこのテーマで講演を開催予定。157名の参加、そのうち看護職は62名が参加予定。 ・ 安心在宅療養相談を随時実施しており、府内5か所の訪問看護ステーションに委託し、地域住民または専門職を対象に相談にのっている。その中でたばこや飲酒の指導をしている。 ・ まちの保健室という取組では、地域の中に看護協会系列の訪問看護ステーションを3か所設置しており、日常的な健康相談をしている。そこでたばこや飲酒の相談にもものっている。
<p>部会長 京都禁煙推進研究会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ では、次に京都禁煙推進研究会からお願いしたい。 ・ 未成年者の喫煙防止の取組では、例年通りタバコフリーキャラバン、防煙教育を行っている。京都府下において小中校、看護学校などで行った。資

<p>部会長</p>	<p>料は12月時点での予定だが、3月末までに延60回、1727名を予定している。昨年度と比較して少し増加し回復傾向にある。現在、オミクロン株が流行っているが、リモート方式に変え、臨機応変に実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界禁煙デー京都はコロナの影響で、イベントができなかったため、ホームページで禁煙の啓発ダンスを公開したり、たばこに関する川柳を募集し、入賞作品を表彰した。 禁煙指導講習会では昨年8月21日に今注目されている「禁煙治療に係るアプリ」について将来性を含め講演を実施した。 先ほど看護協会からも報告があったが、卒煙サポーター養成講座は新型コロナウイルス感染症を絡めたホットな話題。オンライン開催のため、全国から参加をいただく予定。 卒煙支援勉強会は、少人数での勉強会だが、集会が困難なため開催できていない。来年度以降オンラインの活用を含め検討している。 卒煙コンテストは、禁煙を3ヵ月達成した方に、応募していただき1年後のフォローなどを行っている。 さいごに、京都学生健康フォーラムも協力している。ハイブリット形式で270名参加され、学生の健康づくりの活動報告をしてもらった。 コロナの中、活動を継続していただいていることは素晴らしい。その他にも資料を見ると、教育関連や医師会、産業保健総合支援センターなど多くの団体が手を取り合って禁煙を推進していく状況が分かる。できることならば、コロナがおさまりさらに活動が広がることを願う。 京都市においては、路上喫煙禁止を広いエリアで実施していることが全国的にみても大きく素晴らしいことと取り上げられている。住民の生活があるところであるため、これからも路上喫煙禁止を広めていただきたい。
------------	--

② 令和3年度「健康づくりに関するアンケート」結果概要報告について

<p>事務局 部会長</p> <p>京都府看護協会</p> <p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資料2の説明 コロナ禍の中で不規則なことが起こった。喫煙者が家庭に入り、家庭の中での受動喫煙が増えることは致し方なかった。同時に、路上喫煙が非常に多いことは、やはり禁止をもっとすすめるなければならない結果であったと思う。そのほかに質問等はあるか。 受動喫煙を受けた場所について、比較的子どもが暴露する機会が家庭と路上で多くなっている。もうひとつ、子どもが利用する屋外の空間も増加傾向にあるが原因が分れば教えてほしい。 もう一点、女性の喫煙率が少し上がっているが、先ほどの家庭内喫煙が関係するのかわかる範囲で教えてほしい。 原因の分析は難しいが、どの場所も法の体系の中で配慮義務の対象であり、
--	---

<p>部会長 京都禁煙推進研究会</p>	<p>罰則規定はなく、お願いしていくしかない現状である。路上は文化市民局と連携し路上喫煙対策を推進していく。家庭や公園等の空間については、周知啓発を積極的にすすめていきたいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性の喫煙率の増加傾向についても原因の分析は難しいが、特に妊産婦の影響が懸念されるため、保健福祉センター等それぞれの場で啓発していきたい。 その他にご質問等はあるか。 女性の喫煙問題と関係するかもしれないが、「たばこ」というのは一般的な紙巻きたばこだけでなく、加熱式たばこも含むようなことがわかるような記載があったのか。
<p>部会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 加熱式／電子たばこが非常に多くなってきている。情報によると、喫煙者の3分の1がユーザーになっていると報告されている。それが区分としてあったかどうか。事務局いかがか。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> 項目ではたばこの種類等は指定されていない聞き方をしている。今の御意見をふまえ、今後のアンケート項目を工夫していきたい。
<p>部会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 以前は、喫煙／非喫煙だけの質問項目だけだったが、最近では加熱式たばこを使っているユーザーは、自分はたばこを吸っていないと思い込んでいたりする。そういう項目を次回から考慮いただきたい。 家庭の中の禁煙については、本会に御所属いただいている京都市PTA連絡協議会のみならずも活動してくださっている。家庭の中に知識を浸透させることは難しい。PTA連絡協議会含め、全体で取り組むべきことかと思う。PTA連絡協議会から何か御意見あるか。
<p>京都市PTA連絡協議会</p>	<ul style="list-style-type: none"> 家庭での禁煙啓発は大事だと考えている。職業柄、妊婦に関わることが多く、やめた方や我慢される方が多いが、御主人が加熱式や電子式にかえたというお声を聞く。やはりあまりたばここととしての意識がないのかなと感じる。加熱式や電子式たばこの悪影響を勉強していきたいと思う。
<p>京都府薬剤師会</p>	<ul style="list-style-type: none"> 加熱式たばこに対する様々な情報が錯綜している。受動喫煙がないという誤った認識をかえたいが、まだ評価が出されていないのでなかなか難しい。はじめから悪いものなのではないか、という規制が大切だと感じている。
<p>部会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 情報が大事だと痛感する領域である。力をあわせてすすめていきたい。 薬剤師会へひとつ尋ねたいが、禁煙支援でニコチンパッチが非常に不足しているようだが、何か共有していただけることはあるか。
<p>京都府薬剤師会</p>	<ul style="list-style-type: none"> 他の方からも尋ねられたことがあるが、正確なことが申し上げられない。コロナ禍の中で禁煙が促進されていくべきタイミングの中で禁煙外来が困っている状態は気にかかっている。禁煙支援薬局でも禁煙を促進していきたいと思い、加熱式たばこのリーフレット等で進めているところである。
<p>部会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 医者が行う禁煙支援のほかに、薬剤師が薬局を通じて禁煙支援の大きな柱になっていただいている。その活躍を期待申し上げる。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> 一点，加熱式たばこに補足したい。P59の参考資料3の受動喫煙防止のリーフレットである。ここに加熱式たばこについてコメントをいれている。明確になっていない部分はあるが，加熱式たばこについても健康被害が明確になっていないため，注意が必要ということを周知していく。今後，知見がすすんでいくことを含め，アップデートして周知していく。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> 京都市とともに，それぞれの場で周知していきたい。

(3) 閉会挨拶 京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室 保健担当部長 安藤 えつ子